

2023年1月26日
九州電力株式会社

川内文化ホール跡地利活用事業の施設建築に着工します

— 本日、起工式（安全祈願祭）を挙行了しました —

当社は、川内文化ホール跡地を「九電グループ経営ビジョン2030」に掲げた「持続可能なコミュニティの共創」に取り組む場と位置づけ、同跡地の利活用事業に関して、2021年8月鹿児島県薩摩川内市と協定を締結し、事業実施に向け、新施設の建設に必要な手続きを進めてまいりました。

(2022年11月30日お知らせ済み)

本事業により整備する施設は、子育て層を中心とした親子3世代が集い、楽しみ、くつろぎ、学べる「“開放感”笑顔あふれる憩いの空間」をコンセプトとし、地域の皆さまに愛され親しまれる施設を目指しており、本日、施設の着工にあたり、起工式（安全祈願祭）を執り行いました。

また、当社のカーボンニュートラルへの取組みを具現化するシンボリックな施設とするため、建物の高断熱化及び高効率機器の導入等による「省エネ」と太陽光発電の設置による「創エネ」により年間エネルギー消費量の収支ゼロとした「ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）」の実現を目指しております。

今後、2024年春の開業を目指し、引き続き地域の皆さまのご理解をいただきながら、安全を最優先に建設工事を進めてまいります。

【川内文化ホール跡地利活用事業 建築計画概要】

事業者	九州電力株式会社
所在地	鹿児島県薩摩川内市若松町（川内文化ホール跡地）
敷地面積	約8,500㎡
建物規模 延床面積	本館：木造2階建、約3,000㎡ 別館：木造1階建、約500㎡ 立体駐車場：鉄骨造2階建、約2,300㎡
工期	建築着工：2023年1月 竣工：2024年3月（予定）
設計会社	西日本技術開発株式会社
施工会社	株式会社植村組・株式会社橋口組 共同企業体

以上



ずっと先まで、明るくしたい。

「快適で、そして環境にやさしい」

そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。

それが、私たち九電グループの思いです。